

2040年の「働く」を考えるプロジェクト

第一回ワークショップ 議事要旨

○実施日：2024年4月15日(月) 18:00～21:00

○場所：キャリアカウンセリング協会(港区新橋1-16-4) セミナールーム3

○参加者(敬称略)：

- ・ワークショップファシリテーター 大学院大学至善館副学長 吉川克彦
- ・ワークショップメンバー 各領域*のキャリアコンサルタント20名
- ・発起人 キャリアカウンセリング協会 理事長 藤田真也
- ・研究会事務局有志

*企業、教育、福祉・地域、企業領域、需給調整等の活動領域

○内容

- (1) 主催者挨拶
- (2) ワークショップメンバー自己紹介
- (3) ワークショップ全体像説明
- (4) グループでの対話：2040年の「働く」のイメージを共有する
- (5) グループ編成：個人の問題意識をもとにグループを編成
- (6) グループでの対話：アクションを検討する

○議事要旨

- (1) 主催者挨拶
(藤田理事長より)

大変ありがたいことにワークショップに対して全国から120名を超える応募があり、その中から活動領域・地域、将来への問題意識等を考慮し多様なメンバーで構成させていただいた。3ヶ月という短期間で様々なインプット・アウトプットが必要で、ワークショップ外部の方への積極的なインタビューなどもお願いしたいと考えている。時間的にも空間的にも視野を拡大し、ありたい2040年の実現に向けて、私たちは何に取り組んでいくのか、いきたいのかを考えていただきたい。

(吉川ファシリテーターより)

過去に一度、将来の「働く」を考えるプロジェクトを経験したことがあり、当時の参加者から「あの時に考えたことで自分がどう働くかが大きく変わった」と言われることが多々ある。2040年に向けて、自分たちの身の置き所を、社会と自分を行ったり来たりしながら考えていただきたい。今後、人口の大きなかたまりが労働市場から喪失する。その時の日本の社会において

働くことはどうなっているのか、働くことは人生のすべてではないが、働くことで疲弊して人生を楽しめないと困るし、できれば働くことで充実感を感じられたらよいと願っている。

(2) ワークショップメンバー自己紹介

メンバーの皆様から「自分を象徴する3つのキーワード」を用いて、ユーモアに溢れた自己紹介をしていただきました。

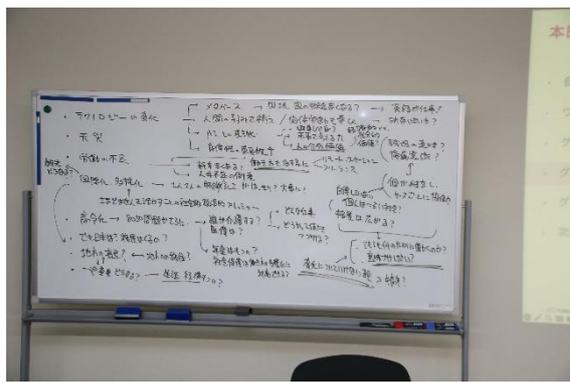
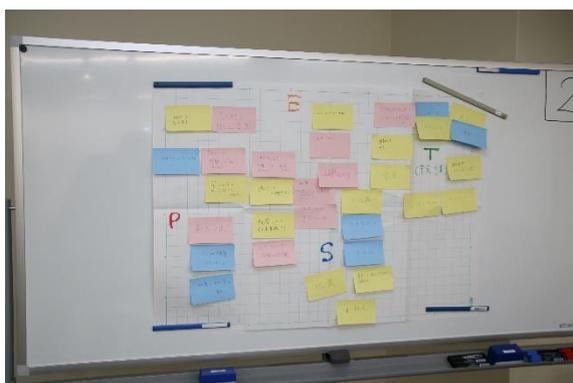
(3) ワークショップ全体像説明

吉川ファシリテーターより、全5回の実施概要について説明がなされた。

参照 https://www.career-npo.org/files/2040pjt_WS1.pdf

(4) グループでの対話：2040年の「働く」のイメージを共有する

各自が考えるイメージをポストイットに書き出し、ホワイトボードに貼り出し、KJ法で類型化し、各グループから発表がされた。



各グループでテクノロジーや社会の変化が未来の「働く」に及ぼす影響について活発な意見交換がなされた。

最後に吉川ファシリテーターが全グループの発表をまとめて解説を行い(右下写真)、あわせて2040年の「働く」を考えるうえでヒントとなる様々な関連データが共有された。

(5) グループ編成：個人の問題意識をもとにグループを編成

これまでの議論をもとに「自分が取り組みたいテーマとその理由」を画用紙に描きホワイトボードに掲示、相互回覧し、5つのグループが組成された。(各テーマは後日報告)



次回以降はこのグループメンバーで、テーマについて深掘りし、6/24(月)第五回ワークショップで活動成果を発表いただくことを予定している。

(6) グループでの対話：アクションを検討する

今後の活動について以下の話し合いが行われた。

- ・何をグループのテーマとする？グループ名は？
- ・このテーマの「現状」と「その要因・構造」についての現時点での仮説は？
- ・さらに理解を深めるために、どんなアクションを取るか？
- ・誰に会いに行って、どんなことを聞きたい？
- ・資料やメモをどうやって共有、蓄積する？
- ・グループのメンバー間での連絡をどうやって取る？
- ・どうやって議論を進める？ 定例ミーティングを持つ？

次回ワークショップは5/12(日)10:00～オンラインにて実施予定。

テーマは「現状を掘り下げる」。各グループのテーマ領域において、今何が起きているのか、その背景にある要因や構造とは、について発表いただく予定。

以上